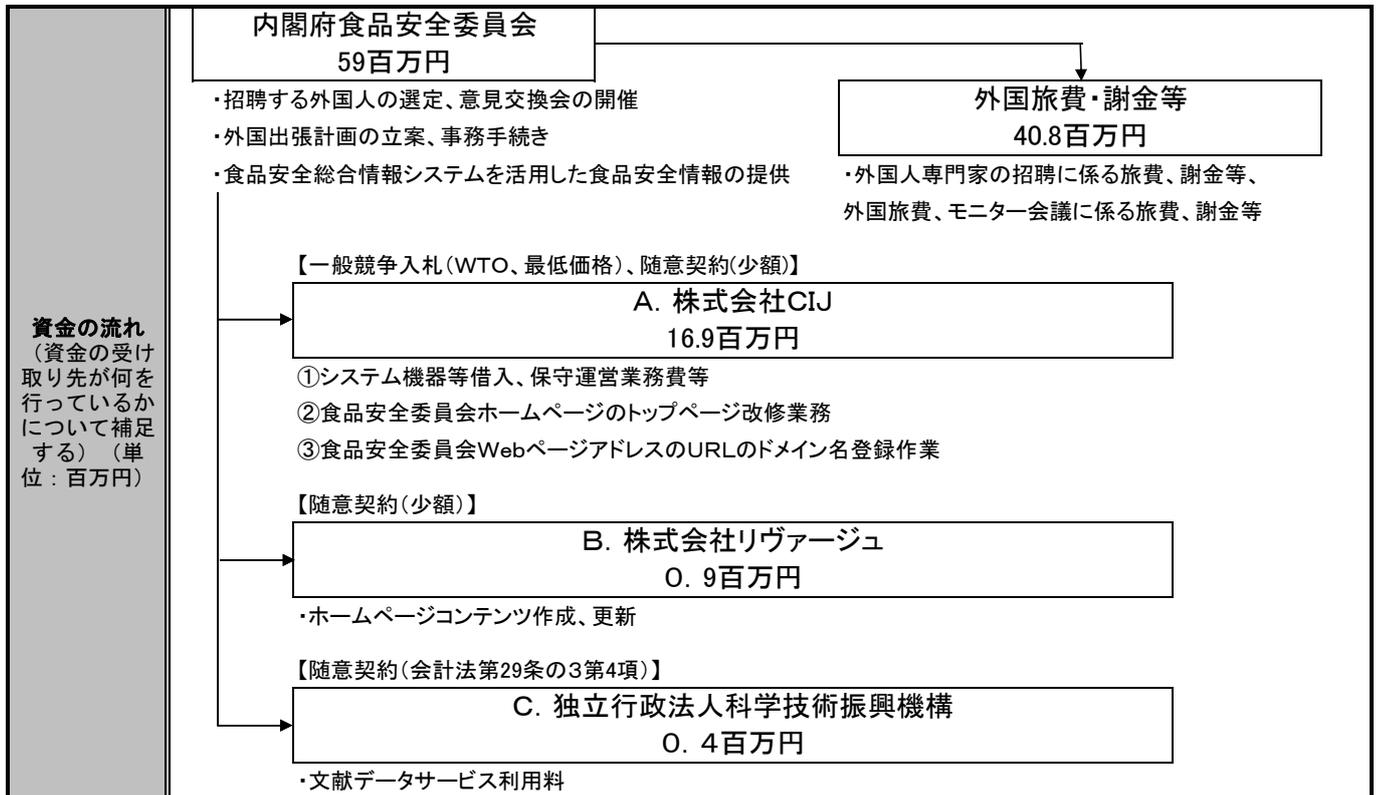


平成23年 行政事業レビューシート (内閣府)

事業名		食品安全行政の充実・強化経費		担当部局庁	食品安全委員会事務局		作成責任者		
事業開始・終了(予定)年度		平成15年度		担当課室	勧告広報課、情報・緊急時対応課		本郷 秀毅 情報・緊急時対応課長		
会計区分		一般会計		施策名					
根拠法令 (具体的な条項も記載)		食品安全基本法(平成15年5月23日法律第48号)第17条		関係する計画、通知等	食品安全委員会運営計画				
事業の目的 (目指す姿を簡潔に。3行程度以内)		食品の安全性の確保のために必要な措置の適切かつ有効な実施を図るため、国の内外における食品の安全性の確保に関する情報の収集、整理及び活用その他の必要な措置を講ずるとともに、これらの食品の安全性の確保に関する情報を個人情報等に配慮しながら広く一般に公表。							
事業概要 (5行程度以内。別添可)		<p>国外のリスク評価に関する最新の知見や動向等を食品安全委員会の活動に反映あるいは食品安全委員会の活動の成果を国外のリスク評価に反映するため、外国人有識者(研究者等)との意見交換、国際会議への派遣を実施。食品安全モニター^{※1}を通じた情報・意見の収集等を実施。また、食品安全委員会が収集、整理した情報のほか、食品安全委員会が実施した食品健康影響評価に関する情報等を食品安全総合情報システム^{※2}より情報提供。</p> <p>※1 食品安全モニター: 食品に関する一定の経験・知識を有する全国の消費者470名に食の安全に関する意見・情報をいただくため食品安全委員会が依頼</p> <p>※2 食品安全総合情報システム: 食品安全委員会のホームページを通じてアクセスすることができるデータベースシステム</p>							
実施方法		<input type="checkbox"/> 直接実施 <input type="checkbox"/> 業務委託等 <input type="checkbox"/> 補助 <input type="checkbox"/> 貸付 <input checked="" type="checkbox"/> その他							
予算額・執行額 (単位:百万円)				20年度	21年度	22年度	23年度	24年度要求	
		予算の状況	当初予算	141	197	118	53	44	
			補正予算						
			繰越し等						
			計	141	197	118	53	44	
		執行額	103	104	61				
執行率(%)	73	53	50						
成果目標及び成果実績 (アウトカム)		成果指標			単位	20年度	21年度	22年度	目標値 (年度)
		食品安全委員会のホームページアクセス件数		成果実績	件	—	1,903,789	11,736,157	
				達成度	%				
活動指標及び活動実績 (アウトプット)		活動指標			単位	20年度	21年度	22年度	23年度活動見込
		食品安全関係情報(隔週報)の発行		活動実績 (当初見込み)	号	—	25	22 (22)	— (18)
単位当たりコスト		ホームページ掲載に係る経費 (258,075円/月)		算出根拠	[平成22年度実績]年間経費(情報処理業務庁費(ホームページコンテンツ作成・更新、データベース利用料、URLドメイン登録)+庁費(消耗品費:文献の購入)/12ヶ月(1,320,900円(921,900円+378,000円+21,000円)+1,776,000円)/12				
平成23・24年度予算内訳	費目		23年度当初予算	24年度要求	主な増減理由				
	委員手当		0.6	0.2	執行実績を踏まえ減額するとともに、食品安全モニターの専門性向上のための経費を増額する。				
	諸謝金		3.8	4.2					
	職員旅費		12.5	9.4					
	委員等旅費		12.1	10.1					
	外国人招へい旅費		5.3	2.7					
	庁費		18.7	17.1					
計		53	44						

事業所管部局による点検			
	評価	項目	特記事項
目的・予算の状況	○	広く国民のニーズがあり、優先度が高い事業であるか。	
	○	国が実施すべき事業であるか。地方自治体、民間等に委ねるべき事業ではないか。	
	○	不用率が大きい場合は、その理由を把握しているか。	
資金の流れ、費目・用途	○	支出先の選定は妥当か。競争性が確保されているか。	
	○	単位あたりコストの削減に努めているか。その水準は妥当か。	
	○	受益者との負担関係は妥当であるか。	
	○	資金の流れの中間段階での支出は合理的なものとなっているか。	
	○	費目・用途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。	
活動実績、成果実績	○	他の手段と比較して実効性の高い手段となっているか。	
	○	適切な成果目標を立て、その達成度は着実に向上しているか。	
	○	活動実績は見込みに見合ったものであるか。	
	○	類似の事業がある場合、他部局・他府省等と適切な役割分担となっているか。	
	○	整備された施設や成果物は十分に活用されているか。	
点検結果	<p>22年度の食品安全総合情報システムの保守運用管理に係る経費については、適切な入札を実施する等コストの削減に努めたことにより、当事業が予算を大幅に下回ったことから、執行率も併せて下がっている。</p> <p>23年度予算要求に当たっては、22年度のコスト削減実施状況等を見込み削減を行っている。</p> <p>また、外国人有識者の招へいや国際会議への委員出席等への支出については、航空運賃を3社以上からの見積もりを取るなどにより、経費の節減に努めている。</p> <p>外国人有識者や国際会議への委員出席等への支出については、引き続き適正な執行に努め、更なる効率化を図って参りたい。</p>		
現状通り	<p>外国旅費等について、出張時の割引航空運賃の活用を図る等、予算の効率的執行に留意すべき。</p>		
上記の予算監視・効率化チームの所見を踏まえた改善点(概算要求における反映状況等)			
<p>外国旅費等の執行にあたっては、三者見積もり等により削減に努めているところであり、その執行実績を踏まえて、予算要求額を削減した。</p>			
補記 (過去に事業仕分け・公開プロセス等の対象となっている場合はその結果も記載)			
<p>平成22年度行政事業レビュー(予算監視・効率化チームの所見)</p> <p>22年度予算額が19.20年度の執行実績を上回っていることから、予算執行状況を踏まえ、予算額の削減を含む見直しを図るべき。</p> <p>また、外国旅費等に係る経費については、出張時の割引航空運賃の活用や事務費の節減等、更なる効率化に努めること。</p>			



費目・使途 (「資金の流れ」においてブロックごとに最大の金額が支出されている者について記載する。使途と費目の双方で実情が分かるように記載)	A. 株式会社CIJ			B. 株式会社リヴァージュ		
	費目	使途	金額 (百万円)	費目	使途	金額 (百万円)
雑役務費	システム機器等借入、保守運營業務等	16	雑役務費	ホームページコンテンツ作成、更新	0.9	
雑役務費	食品安全委員会ホームページのトップページ改修業務	0.9				
雑役務費	食品安全委員会WebページアドレスのURLのドメイン名登録作業	0.02				
計		16.9	計		0.9	
	C. 独立行政法人科学技術振興機構					
	費目	使途	金額 (百万円)	費目	使途	金額 (百万円)
	雑役務費	文献データサービス利用料	0.4			
	計		0.4	計		0.0

支出先上位10者リスト

A.

	支出先	業務概要	支出額 (百万円)	入札者数	落札率
1	株式会社CIJ	システム機器等借入、保守運營業務等	16.9	2	
2	株式会社リヴァージュ	ホームページコンテンツ作成、更新	0.9	随意契約	
3	独立行政法人科学技術振興機構	文献データサービス利用料	0.02	随意契約	
4					
5					
6					
7					
8					
9					
10					